



3H 人間環境科の弁当販売実習



10月26日（木）に3年人間環境科の弁当販売実習がありました。お弁当の制作にあたった生徒は普段の授業の中で何度も練習していたそうです。それぞれしょうがご飯を作る班や、おかずを作る班など3～4人グループに分かれて作業していたそうです。今までにたくさん練習し、より良いものを作るために努力していたそうです。18日には弁当のチケット販売があり、昼休憩になると長蛇の列が出来ていました。

今回の弁当には、しょうがご飯、鶏肉のからあげ、だし巻き卵、ほうれん草のごまあえ、バターナッツの素揚げが入っており、とてもバランスのとれたメニューになっていました。お弁当を買った生徒に感想を聞くと、「とても美味しかった」「見た目が綺麗！」「たくさん入っていてお腹いっぱいになった」など、とても好評でした。3年人間環境科の生徒は「作るのは大変だったけど、喜んでもらえてよかった」と、とても嬉しそうでした。

今回制作したお弁当は湖陵フェスタでも販売する予定なのでぜひ買ってみてください。



人権教育講演会



10月6日（金）3年生がLHRで鳥取市人権情報センターの衣笠尚貴さんに講演会を実施していただきました。部落差別の話を知りました。今も差別が続いていて、差別は差別をする側の問題であることを学び、差別を放置していても無くならないので自分に何ができるのかを考え、行動につなげていくことが大切だと学びました。「差別を許さない関係を築いてほしい。そして行動につなげて欲しい」と言っておられました。生徒は衣笠さんの講演を真剣に聞きました。一人一人が自分に何ができるか考え、正しい知識を学ぶことができた時間になりました。



生きる意味を考える講演会



10月5日に、第1体育館で東京演劇集団風の皆さんによる演劇が行われました。劇の題名は、『ヘレン・ケラー〜ひびきあう者たち』で、アニーとヘレンが出会い、2週間の共同作業を送る前後、1か月ほどの期間を題材にした物語でした。ヘレンは、病気で目と耳が聞こえなくなり、そのせいで、話すことも困難となってしまいます。アニーはヘレンの家庭教師になり、ヘレンとコミュニケーションをとろうと格闘しますが、なかなかうまくいきません。けれど、アニーはあきらめませんでした。アニーは、ヘレンに、「ヘレン、あなたに覚えてほしいのは、みんなと話せる言葉。そして、生きている幸せ。」と、言いました。障がいがあるなし関係なく、幸せになる権利は誰にでもある。そのように生きていく上で大切なことを演劇を通して教えていただき、心に響いた生徒も多かったのではないのでしょうか。



研修旅行

10月11日（水）～10月13日（金）2年生が2泊3日の研修旅行で京都府・大阪府・兵庫県へ行きました。

1日目は、科別研修で食品システム科は、みかしほ学園、緑地デザイン科は、大阪市立科学館・花と緑の庭園うめきたガーデン、人間環境科は、神戸松蔭女子学院大学・インスタントラーメン発明記念館、情報科学科は、国立研究開発法人理化学研究所とNHK大阪放送局、電子機械科は、京セラ株式会社・山岡金属工業（株）に行きました。そして夜は劇団四季観劇「CATS」を鑑賞しました。初めて劇団四季の公演を観た人も多く、迫力があって、面白かったので、印象に残っている人が多いと思います。

2日目は、京都班別研修でした。京都駅から解散をして、クラス別にグループに分かれ、事前に観光のルートや交通手段を調べ、平安神宮に集合を考えて各班で計画を立ててそれぞれのグループで研修をしました。夜は八つ橋庵とししゅうやかたで夕食を食べました。

最終日は、ユニバーサルスタジオ・ジャパンで自由行動をしました。3日間の中で一番楽しみにしていた生徒が多かったのではないのでしょうか。USJで昼食をとり、アトラクションに乗ったり、お土産を買ったり楽しみました。楽しい時間を過ごして、研修旅行が終わりました。2年生にとって最高に忘れられない研修旅行になったと思います。

